

APIS RACING レース参戦記

vol. 1.0

Honda Dream Challenge

2014 Honda 150cc統一賽 (第24届天马论驾: 5.31-6.1)

今回弊社、上海アピス実業有限公司を母体としたAPISレーシングを立ち上げ、上海でもレース経験豊富な猪狩圭助氏をライダーに招き、5月30日〜6月1日に上海天馬サーキットで開催されたHonda 150cc統一賽に参戦して参りました。

レースに参戦することで新たな挑戦、技術開発、モチベーションを上げることはもちろんですが、中国でモータースポーツに関心を持たれている方々への情報発信が出来ればと考えています。

参加マシンは新大州ホンダ、五洋ホンダ製造のCBF150/RR150を使用したワンメイクレース。

A/B、2クラスある中のAクラスへ参戦。

Aクラス:

母体形状、排気量は変えられないが、ほぼ改造無制限に近いマシンクラスBクラス:

市販状態に小改造(レース必要部品のみへの交換)を施したレース入門クラス

当然マシン開発を考えると弊社としてはAクラスへの参戦しか選択肢はありません。

今回車両改造点はフロント周りの大改造

● 倒立フォークとステムトップブリッジ及びその他マウント類の設計、製造。

● 旧タイプ車両(18インチタイヤ)を新型化(17インチタイヤ)への改造。

以前より不安のあったフロント周りの強化が大きな目的でした。

当社でのコンセプトは誰もやっていない事への挑戦であり、オリジナルティを追求した唯一無二のマシンを仕上げ、成績を残すという事。

- ・ KYB製倒立フロントフォーク
- ・ Φ300フロントブレーキディスク
- ・ ブレンボブレーキ
- ・ フレーム軽量化
- ・ ホイル17インチ化
- ・ タイヤ
- ・ (ダンロップドライ用、レイン用)
- ・ リヤドラムブレーキからディスク化(スイングアームは旧式)
- ・ ショートホイールベース化
- ・ チェーン軽量化
- ・ エンジンの吸入排気効率化、バルブ軽量、高圧縮化
- ・ ハイオーバーラップカム
- ・ インナーローター点火システム
- ・ FCR28キャブレター
- ・ オリジナルマフラー
- ・ その他、諸々



5月5日(月) 晴れ

マシン作成初のシエイクダウン。天馬は快晴で他2台のマシンが走るのみの貸切状態。

今回は目玉であるフロントサスペンションの状況確認とエンジン状況をみる。そして新タイヤの皮むき。

フロントサス取り付けでオフセット量も変化(40mm↓30mm)させたので成果には期待と不安があったもののライダーのインプレッションは良、以前(ノーマルフロントサス)より素直に回頭し乗りやすくなっていて、そしてフロント周りの剛性があるのがコーナーでかなりスピードが上げられるとの事。

またエンジンのパワーもありFCRキャブとの相性も良く下から上までスムーズに回リストレスが無い。

ただ、マフラーサイレンサー部が数周で脱落し走行一時中断。仕方なく近くにあった旧式マフラーを借用し再スタート。だがやはり旧式の為中速域は良いものの高速の抜けが悪くマフラー最適化検討が課題となる結果に。

計測タイム…1分21秒6



5月24日(土) 晴れ

天馬にて大州ホンダさん、HRCちゃんさんと合同練習会。

前回の課題であったマフラーの最適判断とライダーの更なるマシンとの対話を深める目的。今回消音部のみ山本レーシングAスペックカーボンサイレンサーと脱落したサイレンサーを修理してのトライ。

結果はAスペックは高速での「抜けすぎ」によるパワーロスがあり結局修理したサイレンサーが相性が良いという再確認になった。

足回りに関しては高速コーナー時にフロントが若干跳ねる傾向があり、これには突き出し量を変化させ解決。

計測タイム…1分20秒29

5月31日(土) 予選 曇り

朝からの練習走行と午後の予選計測が主目的。

前回までのタイムと状況で、更なるタイムUPを期待しての練習走行前エンジン始動。ところが始動後すぐにエンジン異音で停止。

即座にエンジンを開けてみるとEX側のバルブが脱落し再使用は不可能な状態。原因はバルブ強度の問題か??

マシンシエイクダウンからマシンとライダーの反応は「さがる良く、予選もある程度結果が望めるとチームの期待度も上がっていたのに残念な状況。

仕方なく練習走行はあきらめ予備パーツを七宝の事務所まで取りに戻り、他のショップさんからも純正部品を調達しての組み直しで何とか午後の予選には間に合う。

計測タイム…1分20秒779

予選5位の成績
エンジンが最適でない中でこのタイムはまずまず。マシンに慣れてきたライダーが更なるタイムUPをした結果でした。



6月1日(日) 決勝 朝から小雨

天気予報通りの雨だが路面はあまり濡れておらずタイヤ選択の判断が必要に。ウエットを予想してレインタイヤの皮むきをメインの練習走行。また、空き時間を利用して雨対策の装備も準備。

午後のレース前まで、日も出る状況で雨がどの程度になるか全く予想できない状況。風と雲行きを見ながらライダーとの判断でレインタイヤに決断。

決勝スタート30分前程度から待望の雨が降り出し、スタート頃は雨脚が更に強くなり大雨状態、傘を指しても濡れるような状態でレースの



プログラムは進みウエットレースとなる。マシンをグリッドにつけた頃雨脚も多少弱くなっていたがライダーは雨にも全く緊張していない様子で自信が感じられた。



レーススタート、第一コーナー後5番手につける。前には弊社製作の倒立フロントフォークキット装着している大州ホンダのライダー田口さん、2人とも調子は悪くない。



何度か抜きつ抜かれつして3周目、4位へと順位をあげる。6周目先頭集団の1台が奥の直角コーナーでコースアウトして3位にUP。ところが7周目第一コーナー後エンジンがストップしコース外にマシンを止める。

その後直ぐ赤旗が出されレースは中断、後での情報では落雷により計

測器不良で続行が不可能でレースは終了。主催者側からの説明で5周までの結果で順位決定との事。結果4位で終えました。

計測最速タイム…1分25秒672
(1位車両最速タイム…1分25秒219)

タイムからするとかなりライダーが差を縮めた結果で、今後のレースにかなり期待度は上がりました。ただ、エンジンストップした原因が雨の為か他の原因かは究明必要な状況、完走できるマシン作りに課題も残った。

第一戦目ではありますがマシンとライダーとの相性も良く、トラブルはあったもののいい結果に終われたと思っています。

今回部品提供を頂いた方々、応援頂きました皆様へ感謝いたします。二戦目、三戦目とライダー共、更なるステップUPに挑戦いたしますので宜しくお願いいたします。

ご興味のある方はご連絡頂きましたら対応させていただきます。

上海アピス実業有限公司 設計事業部
広報担当

TEL : (+86) 021-5473 7807
E-mail : info@shanghai-apis.cn

